

ロースクールへ行こう！！2016
☆列島縦断☆ロースクール説明会&懇親会
北海道会場 企画概要

【日時】2016年10月19日(水) 13時00分から16時15分

【会場】北海道大学 文系共同講義棟(軍艦講堂) 8番教室

会場地図は下図またはこちら→ <http://www.juris.hokudai.ac.jp/map/>

主催：法科大学院協会 共催：日本弁護士連合会

後援：最高裁判所、法務省、文部科学省、適性試験管理委員会

開催協力：札幌弁護士会

開催校：北海道大学法科大学院

【進行予定】

司会 米田雅宏 北大法科大学院教授

開催校挨拶(13:00) 山本哲生 北海道大学法科大学院院長

第一部(13:05~14:35)《法曹三者、実務を語る》

【趣旨】

裁判官・検察官・弁護士に、若手弁護士からの質問に答える形式で、下記の項目についてお話し頂きます。法曹三者の業務内容、その特性や相違等を参加学生に知ってもらうことを目的としています。

司会 野谷聡子 先生(札幌総合法律事務所、札幌弁護士会法科大学院支援委員会副委員長、北大法科大学院修了生)

【内容】

(1) 講演内容(予定)

- ・法曹三者のそれぞれの業務内容と仕事の魅力について
- ・法曹になろうと思った動機及び裁判官・検察官・弁護士を選んだ動機、きっかけ
- ・民事・刑事裁判、裁判員制度について
- ・法科大学院教育について
- ・法曹以外の就職先・活躍の場について など。

(2) 質疑応答

【講師】裁判官 村井壮太郎 先生(札幌地方裁判所、北大法科大学院特任教授)

検察官(予定) 西村恵三子 先生(札幌高等検察庁、北大法科大学院特任教授)

弁護士 磯部真士 先生(磯部法律事務所、北大法科大学院特任教授)

第二部 (14:45～16:15) 《法科大学院の授業をのぞいてみよう！》

【趣旨】

北海道大学で法科大学院教育に携わっている先生方に、法科大学院の授業を 30 分程度で再現して頂きます。民事実務演習など法科大学院でしか展開されていない授業を体験して頂くことや、学部授業で行われる科目が法科大学院ではどのように講義されるかなど学部教育との相違を参加学生に知って頂くことを目的としています。

また模擬授業を踏まえつつ現役法科大学院生や修了生に、法科大学院での勉強の仕方や学部時代の過ごし方などについて語って頂き、参加学生に法科大学院進学に関心を持って頂くことを目的としています。

【内容】

(1) 模擬授業

◎民事実務演習

講師 木下尊氏 特任教授

(朝倉・木下・増谷法律事務所、北大法科大学院実務家教員)

目に見えない「権利」が、民事実務の法的紛争の場面でどのように生成され、解決に至るのかを、実際に生じた具体的事例を素材とし、授業用にアレンジした教材を用いて俯瞰的に考察する。模擬授業では、司法試験に合格した修了生にも参加してもらい、実務家教員と修了生との双方向の対話を通じて、事案の解明に必須となる事実認定や法律上の論点、最適な紛争解決手続の理解を深めていく。

◎刑事法事例問題研究

講師 小名木明宏 教授 (北大法科大学院研究者教員)

刑法各論に関わる裁判例や重要論点を基にしてオリジナルに作成された事例問題を素材に、個人的法益に対する罪、社会的法益に対する罪、国家的法益に対する罪の順に検討する。授業は学生の予習を前提として、教員と学生との対話形式、問答形式、さらに学生相互及び教員との討論(ディベート)を採り入れたソクラテスメソッド形式で行われる。それによって、事例問題の事実関係を正確に把握し、その中から法律問題を引き出して、妥当な解決策を理論的に組み立てる能力の涵養を目指す(シラバスより抜粋)。

(2) 現役法科大学院生並びに修了生による対談

- ・1日のスケジュール
- ・勉強の仕方(基本書・判例集の活用方法など)
- ・自主勉強会について
- ・息抜きの方法・バイト・奨学金など
- ・学部時代の過ごし方 など

(3) 質疑応答

